

校
報

誕生寺NOW!

岡山県立誕生寺支援学校

学校URL

<http://www.tanjoji.okayama-c.ed.jp/>

2学期を振り返って ～笑顔を探めて～

校長 土居隆博

令和3年も残すところ一週間となり、年の瀬を感じる季節になりました。

1学期は、新型コロナウイルス感染症の拡大の中、学校行事が開催できない状況が続きました。2学期、10月以降は感染者が減少傾向になり、学校行事も徐々にではありますが、感染対策を講じながら実施することができるようになりました。

2学期は生徒にとって、主体的な活動ができる多くの学校行事が用意されています。10月末には、誕生寺支援学校と地域の協力のもとに運営しているアンテナショップも再開し、多くの地域の方に来店いただきました。接客する生徒も、久しぶりの営業で緊張した様子もあったようですが、お客様が来店すると笑顔いっぱい接客をしていました。また、お客様も地域の憩いの場所としてコーヒーやマドレーヌを食べながら談笑をされ、生徒が育てたパンジーなどを買ってくださり、地域の皆様を笑顔にすることができました。嬉しく思うとともに、地域の皆様との絆を強く感じることもできました。

児童生徒は、地域の小・中・高等学校との交流学习を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学校に出向いての交流は難しい状況でしたが、オンライン等を活用して交流をすることができました。11月に入るとコロナウイルスの感染も減少傾向になり、多くの児童生徒が居住地での小・中学校で児童生徒同士が直接触れ合う活動に参加できるようになりました。このような活動を通して、友達や地域の大切さを学習したように感じました。

さらに、11月は多くの学部・学年で2年ぶりの校外学習を実施することができました。初めて校外学習を体験する児童生徒は、バスに乗るときに不安な顔をしていましたが、1日の活動を終えバスから降りると、笑顔や楽しさを体いっぱいに表現してくれました。児童生徒は、校外での体験活動を通して大きく成長してくれました。

最後に、新型コロナウイルスの感染が減少する中、学校現場も従来の活動に戻るように取り組んでいけることを願っています。新型コロナウイルス感染症の拡大は、対策や対応が大変ではありましたが、児童生徒・教職員の安全で安心できる学校環境を考える良い機会となったとも言えます。3学期も、学校の安全・安心を考えつつ、児童生徒が主体的に活動できる学校を目指し、教職員が一丸となって取り組んでいきます。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をお願いします。



今月の進路情報について

A 中学部 作業週間について

A 中学部では、11月15日（月）～24日（水）まで作業週間を実施しました。この期間中は、普段学習している作業班に分かれて、午前・午後と一日を通して作業に取り組みます。これは、高等部での実習や就労したときのイメージに近い学習活動です。集中力を持続させたり丁寧に仕事に取り組んだり、働くための基礎となる力を育てることを目指しています。

15日の開始式では、教頭先生から働くことについての話がありました。その後は各作業班に分かれて、一人一人の目標を決めたり作業週間中の予定を確認したりしました。

20日にはバザーがあり、自分たちが作った作業製品を保護者の方に販売しました。直接製品を手渡して代金をいただくことで、自分たちの取り組んだ仕事の成果を実感することができました。

24日は報告会・終了式を行い、各作業班で取り組んだ内容を発表しました。校長先生に「みんなが頑張ったことでたくさんの人を幸せにしている」という話をさせていただき、努力賞をもらいました。努力賞に書いてある内容を嬉しそうにじっくりと読む姿がたくさん見られました。



1月の主な予定

- 11日（火）3学期始業式（両校地） *SB短縮
- 14日（金）避難訓練（弓削校地：午前）
- 21日（金）高等部入学者選抜検査（A・B高）、A・B高家庭学習日
- 24日（月）後期あいさつ運動（誕生寺校地 ～2月4日）
- 25日（火）冬の実習（A高職業1・2年 ～2月4日）

